

常任委員会の 審査から

総務建設常任委員会

総務建設常任委員会は、付託された議案3件、陳情1件について審査を行いました。主な議案について御報告いたします。

議案第3号、平成28年度富里市一般会計補正予算(第1号)について、公園緑地管理事業の補償金150万7000円の増額は、住宅地に近い、のり面下側から工事を行う難度の高い、旭ヶ丘ニュータウン緑地整備工事に伴う影響のあった家屋等2件の修復にかかる補償金とのことであり、適切な住宅家屋調査を行った上で施工したとの説明でした。

議案第4号、平成28年度富里市一般会計補正予算(第2号)について、一般コミュニティ助成事業補助金250万円の増額は、日吉台小学校区自治会連絡協議会の宝くじ助成が決定したものであるとの説明でした。

議案第5号、平成28年度富里市一般会計補正予算(第3号)について、市税徴収事業3143万9000円の増額は、過年度分所得税の更正決定により発生した歳出還付金及び還付加算金の予算を確保するものであり、還付加算金は国税の遅れにより発生したのは明らかであり、三税協議会の場において対処の改善を要望したい、との説明でした。

陳情第6号、富里市新橋「しんおはし」架け替え工事に関する陳情について、昭和36年に竣工した本橋梁は劣化が著しく、川に建てられた橋梁の支柱への堆積ごみの撤去作業が区民の大きな負担であるため、橋のかけかえを要望するもので、委員から、将来的な修繕、かけかえの判断と併せて、ごみの撤去などについて、協力していただきたい、との意見がありました。

慎重に審査した結果、付託された全ての議案を可決、また陳情を採択しました。
(委員長 戸村 喜一郎)

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会は、付託された議案4件、請願2件について審査を行いました。主な議案について御報告いたします。

議案第1号、富里市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、改正により幼稚園教諭や小学校教諭、養護教諭も保育士とみなされ、保育士と同等の知識及び経験を有すると認めるものについても配置ができることだが、保護者の不安は解消されないのではとの質疑があり、本市においては家庭的保育事業はないものの、最低基準として規定し、利用する保護者に対して最低基準以上のものを提供したいと考えているとの説明でした。

議案第3号、平成28年度富里市一般会計補正予算(第1号)、児童発達支援運営事業の運営状況について質疑があり、本年度は正職員が配置されたことで、安定化が図られ安全な運営ができていくとの説明でした。ジョイント・スクール推進事業の取り組みについて質疑があり、本年度は指導主事2名の先進地への視察派遣を予定し、事業については、昨年度まで富里南中学校がモデル校として取り組んだが、本年度は市内3中学校を中心とした3学園がそれぞれ取り組むとの説明でした。

議案第4号、平成28年度富里市一般会計補正予算(第2号)について、地方創生推進交付金の活用による旧岩崎家末廣別邸公園基本設計業務以降、公園整備の推進はどのようにしていくのかとの質疑があり、次年度以降についてもほかの交付金等を活用し、できるだけ早く整備をしていきたいとの説明でした。

慎重に審査した結果、付託された全ての議案を可決、また全ての請願を採択しました。
(委員長 田口 勝一)



一般質問

通告項目

- 江原利勝
 - 1) 公衆無線LANの充実について
 - 2) 公共施設のネット予約について
 - 3) 自転車駐車場について
 - 4) システム委託について
 - 5) 道路行政について
 - 6) 学校のチャラシ配布について
 - 7) 市有財産、土地有効活用について
- 高橋祐子
 - 1) 教育委員会の貸し切りバスの発注形態について
- 相川光規
 - 1) 公共施設の管理について
- 大川原きみ子
 - 1) 要援護者支援対策について
 - 2) 高齢者福祉について
 - 3) 教育施設トイレ改修について
 - 4) 女性活躍推進法に基づく市の対応について
- 窪田 優
 - 1) 災害時における高齢者避難所について
 - 2) 障害児保育について
- 岡野耕平
 - 1) 富里市の活性化について
 - 2) 市内道路について
 - 3) 旧岩崎家末廣別邸とその周辺の有効活用について
- 野並慶光
 - 1) 観光協会について
 - 2) 都市公園の利用について
- 中間幸一
 - 1) 富里市の財政状況と今後の見通しについて
 - 2) 富里市の人口と世帯数、今後の見通しについて
 - 3) 富里市内の保育所と待機児童について
 - 4) 富里市救急車の救急体制について
- 井上 康
 - 1) 農地の適正管理について
 - 2) 木造家屋の防災について
 - 3) 国民健康保険制度の今後について
 - 4) 障害者支援について
- 柏崎のり子
 - 1) 成田空港を取り巻く諸問題について
 - 2) 子ども子育てについて
 - 3) 後期高齢者医療制度について

質のよくなる
は自身による
文による
本者稿も
※問原の



江原利勝

問 両国共同利用施設の放置自転車について

答 条例や規則を参考に管理方法を考えます



長年放置された自転車

『公衆無線LANの充実について』

問 庁舎内、各施設での利用ができるよう提案します。

答 施設への設置は利用者のニーズを踏まえ順次検討します。

『公共施設のネット予約について』

問 導入の目標はありますか。

答 今年度、利用者からアンケート調査を行い検討します。

『システム委託について』

問 システム変更料金が近隣市と比べて値段が高いが検証されていますか。

答 コストの適正化に努めます。

『道路行政について』

問 30年間のプランクを経て市道011-001号線に着手するが、市民への周知と理解については。

答 都市計画道路は利便性をもとに早期の完成に理解を求め、情報の発信をします。

『学校のチャラシ配布について』

問 県内の高校、小学校で「戦争法廃止を求める署名」などのチャラシが配布されたが、言葉巧みにすり寄る配布依頼等、名簿管理や管理職のチェック体制は。

答 県から教育公務員の禁止行為の徹底の文書が来ています。名簿は学校外へは持ち出し禁止です。校長・教頭会議で注意喚起を行い事故防止に努めてまいります。



高橋祐子

問 マンホール液状化対策を早急に講ずるべき

答 必要性を認識しており、検討します

『マンホールの液状化対策について』

問 日吉台三丁目周辺は、東日本大震災で道路のひび割れやマンホールの浮上など、市内で最も大きな被害を受けた。液状化のおそれのある地域のマンホール数を34基と想定とのことだが、その根拠は。

答 特にデータに基づいては無い、3・11で実際に被害を受けた箇所数です。

問 想定として甘くないか。3・11は震度5弱だが、首都直下地震では震度6強との予想もある。しっかりとデータに基づいて考えるべき。マンホールの浮上抑制は、流下機能の維持と交通障害の回避と意義が大きい。3・11よりも大きな被害が予想されるのだから、言うまでもなく対策を講ずるべき。3月には日吉台で試験施工も行われた。一度にが無理なら1年に何基かずつでも優先順位をつけて計画的に進めていくべきではないか。

答 財源も含め検討してまいります。

『貸し切りバスの発注形態について』

問 今年1月、痛ましいスキーバス転落事故が起きたが、安全なバスを選ぶことも利用者の責任と言える。本市の児童生徒が行事等で利用する貸し切りバスについて、学校発注の件数は。

答 把握していません。

『教育委員会は児童生徒の安全をしっかりと監督する責任がある。学校任せではなく、各学校にヒアリングし発注形態をチェクすることが必要と考えるが。』

答 議員の御指摘のとおり今後はしっかりとやっていく考えです。



相川光規

問 公共施設等総合管理計画の進捗は

答 今年度中の策定に向け準備をしています

問 厳しい財政状況が続く中で、今後、本市においても人口減少が予測されます。この人口減少に伴って公共施設の利用需要が変化していくことが予想されます。早急に公共施設全体の状況を把握し、長期的な観点をもって更新・統廃合・長寿命化など計画的に行う必要があるのでは。今年度中に、公共施設等総合管理計画を策定します。現在、業務委託内容の使用等について準備しています。

問 仮庁舎の使用状況について、老朽化・立地場所等を考えた時には、管理計画の策定に当たっては検討が必要かと思いません。耐震強度、安全性に問題はありますか。

答 昭和56年以降の新耐震基準は満たしています。平成25年には一部補強もしています。

問 旧保健センターの今後の活用について、現段階では、どのように検討されているのか。

答 富里市役所庁舎配置等検討委員会という内部組織で検討しています。

問 洗心小学校の廃校に伴う後利用については、地元説明会などでも進めてきたと思います。本市にとっても市民にとっても大きな貴重な財産だと思えます。来年4月から後利用ができるわけですが、スケジュールは。

答 なるべく早くに活用するのが理想ですが、一定程度の時間をいただきたい。地域・市のためになる施設として、次の展開がなされるように考えていきます。



大川原きみ子

問 介護ボランティアポイント制度実施はいつか

答 平成29年度に実施の予定です

『要援護者支援対策について』

問 災害時要援護者支援と個人情報について、災害発生時やおそれのある時は本人の同意がなくても情報提供が可能です。人命保護から非常に重要なことです。また平時から人命保護のための情報共有は不可欠な部分です。個人情報と人命保護とのバランスについて見解は。

答 平時の災害発生を想定した準備行動として具体的な個別避難方法を検証し実践できるよう備えが必要ですが、平時の名簿利用への同意は少ないところです。**問** 地域の担い手による避難支援について平時から住民同士の顔の見える関係をつくるなど地域の防災力を高め近隣との共助・そして行政機関との公助で、要支援者一人一人について誰が支援して、どの避難所に避難させるか等整備について

答 個別の支援プランを避難支援関係者とそれぞれの担当部署を窓口とし策定していくこととしています。今後迅速に作成していきたいと考えております。

『高齢者福祉について』

問 介護ボランティアポイント制度の進捗は。

答 平成29年度の予算計上を目指し、関係団体と協議を進めています。



元気でボランティア活動を!



窪田 優

問 災害時応援協定に高齢者施設との協定はどうか

答 有意義なので積極的に取り組みたいと考えます

問 災害時の体育館など一時避難所の管理責任どうなっていますか。

答 防災計画は富里市が市民のために立てているものなので、避難所運営に関しては責任を持って運営に当たります。

問 要援護者などの福祉避難所はどこどのように設置されますか。

答 計画の中では保健センターの中に設置する計画です。

問 対応可能な人的支援、福祉機器の供給協力体制はどうですか。

答 予算では折り畳みベッド、プライバシー空間をつくるための囲いなど順次整備する予定です。

『富里市民間保育所運営費補助制度』

問 障害児に就いた職員加算制度があるとありますがどのようなものですか。

答 障害児を受け入れるため保育士を配置した場合、県の基準に基づき1名分の経費を補助します。身体障害者手帳の交付療育手帳を受けた児童及び児童相談所長が判断した児童等が基本です。

問 2号認定、3号認定の子で例えばダウン症候群の子は障害者と認定されていないケースがほとんどです。園はちょっと手がかる子と判断して職員をつける場合があっても市が補助しなければ園の負担になります。他市では「市町村が認める障害児とし、障害者手帳の有無は問わない」例もあります。事業者のために何らかの対応が必要ではありませんか。

答 国、県に再三要望していることも事実です。でき得る限り配慮していきたいと思っています。



岡野耕平

問 成田空港の第3滑走路の計画について

答 雇用の創出等の経済波及効果を期待しています

問 オープンスカイにより航空会社が、空港を選ぶ時代。空港間競争激化のため成田空港には第3滑走路が必要と考えるが、

航空会社の需要に添えていないので、第3滑走路の必要性はあると考えます。

問 騒音下の住民の方々の移転補償の拡大や、固定資産税や電気代等の補助を提案して行くべきでは。

答 周辺市町の会議等で検討していきます。

問 第3滑走路建設に当たり、定住促進等のためにも、代替地提供を提案しては。

答 NAAと情報交換をして、需要があれば考えていきます。

問 市職員による「富里市新アクセス構想研究会報告書」の中に成田空港の波及効果を最大限に取り込むための積極的な施策が求められる、とあるが。

答 道路等インフラ整備により、企業の進出、住民の定住化が図られると考えます。

『第二工業団地の計画について』

問 富里工業団地は6社323人、富里第二工業団地は32社2888人だが税収は。

答 固定資産税、法人市民税で平成27年度分は2億2000万円ほどです。**問** 津波の心配がなく、環境に恵まれている富里で迷うことなく計画を進めては。



野並慶光

問 観光協会について

答 本年8月に設立申請を目指し最終調整中です

問 本市の観光資源について。

答 本市の観光資源として、基幹産業である農業のショッピングツアーリズム及びグリーンツーリズム、乗馬体験等の馬のいる風景、国有文化財である旧岩崎家末廣別邸、富里スイカロードレースや富里ふるさとまつり等のイベントを観光資源と捉えています。

問 本市の観光プロモーションについて。

答 本年5月、東京都庁において全国観光PRコーナーへの出店を行い、合計5105人のお客様に本市の特産品をPRすることができましたが、来場者とのやりとりの中で本市の知名度が高くないことを再認識し、観光プロモーションに注力すべきと考えております。

問 近隣市との観光における連携について。

答 成田空港周辺9市町において観光情報誌「るるぶ」を作成する等の広域連携を行っている。観光協会発足後は北総観光連盟へ加入を検討し、共同イベントの開催等、近隣市との観光における相乗効果を図っていきたくと考えております。

『都市公園の利用について』

問 都市公園条例第3条に係る民間活用事例について

答 直近の利用実績としては、富里中央公園で民間会社主催のウォークラリーなど、新木戸大銀杏公園では音楽フェスティバルなどで利用されています。本市において公園利用に関する指導指針等はございませんが、近隣居住地の方々への事前説明のお願いや許可条件の説明を徹底しております。



中間幸一 問 市債（借金）の状況と今後の見通しについて

答 平成28年度末現在高見込み額約220億円です

問 市債は過去最大に膨らむようだが、市債に対する平成28年度の利子支払い見込み額は。

答 当初予算では約2億9000万円です。問 財政調整基金（貯金）の状況と今後の見通しは。

答 平成27年度末現在高は、約11億9000万円、平成28年度末現在高は、約8億1000万円の見込みです。

問 財政調整基金の適正額は。

答 市の場合は標準財政規模の1割程度、約9億円以上が必要とされます。

問 財政力指数は。

答 平成24年度から3年間、全て0.76となっています。

問 富里市の人口と世帯数、今後の見通しについて。

答 平成28年5月31日現在4万9985人、昨年10月策定「富里市人口ビジョン」では平成37年約5万3000人、平成52年約4万9000人、平成72年約4万人以上の維持を目指すとしています。

問 世帯数について。

答 平成28年5月31日現在2万2119世帯となっています。人口の減少に伴い、減少するものと思われます。

問 富里市内の保育所待機児童について。

答 平成28年5月1日現在、95人です。

問 富里市救急車の救急体制について。

答 成田富里徳洲会病院、開院後の状況は、開院後4カ月間の搬送人数は677人で、約4割の270人が受け入れです。



井上康 問 水田の荒廃、市の対応は

答 農家の意向を確認しつつ、荒廃防止に努めます

問 『水田の荒廃を防ぐために』

答 農家意向を確認しつつ、荒廃防止に努めます

問 耕作放棄の水田をふやさない施策は、農地中間管理事業によって進んでいる一方、小規模の水田は集積しにくく、農地中間管理事業では不十分です。高齢化や受託農家の撤退などで、耕作がされず荒れが加速しそうな様相です。富里市としての対策は。

答 市独自の施策はありませんが、国からの補助金などの制度を活用します。

問 国からの補助金等は、当初考えられたほどの効果が期待できません。他自治体のような、市独自の農家サポートが必要では。例えば、複数の農家から水田を任せられ広域で受託している方を対象に、トラクター等の買いかえへの補助金を提供するなどはどうか。

答 今後、研究をしていきます。

問 『障害者就労施設からの物品調達推進は』

答 障害のある人が自立した生活を送るためには、仕事を通じて社会に貢献し、報酬を得て喜びと充実感を得ることが大事です。そのために自治体などが率先して障害者就労施設などからの物品調達を推進する法律が平成25年に施行されていますが、毎年低い額で推移しています。市の対応に積極性が欠けると感じます。

問 平成27年度の調達（施設などへ仕事を依頼した）額は16万9308円でした。この法律は障害者支援にとって重要と認識しております。平成28年度の方針を制定し、平成28年5月の部課長会議にて調達の推進について指示しました。実績向上へ向け努力していきます。



柏崎のり子 問 成田空港の軍事利用を認めない取極書について

答 軍事利用は認めないものと認識しています

問 昨年9月の国会審議の中で、イラク復興支援の名のもとに成田空港を初め、国内の空港から民間機を使った軍事物資の輸送が行われたとし、成田、クウエート61回、クウエート、成田17回、JALを含む民間航空機によって軍事利用されてきた実態が明らかになりました。成田開港に際して「軍事利用は一切行わない」との合意（取極書・交渉覚書）を国、県、空港公団、住民と交わされ「マックチャーター便」も認めないと合意しています。四者の合意は遵守されていないと考えます。関係機関に遵守を要望すべきです。

問 国会でもイラク復興支援のための派遣で軍事的利用に当たらないと答弁されており、市も軍事利用はないと認識します。子ども子育てについて

問 平成28年度（5月）の待機児童数は。

答 95人となっています。

問 前年度の2倍に増加です。その要因は。

答 急激な増加は経済状況、就労状況が考えられます。

問 認可保育園、市立も定員超過状態の中で計画を立て葉山保育園の拡充、認定こども園の建設を進めているが見直しの必要性が出てくるのではないかと感じます。

問 状況をしながら見直しを考えます。

問 再三正規保育士確保を提案してきたが補助金等活用し真正面からの対応を。

答 提案は実施に至っていないが、引き続き対応します。

問 障害児入所の県補助金は低過ぎる。実態に即した基準と増額を求めるべき。

答 基準見直しを県と協議をします。

次回定例会の予定

- 平成28年
9月1日 本会議（議案上程・一般質問（会派代表））
9月6日 本会議（一般質問（個人））
9月7日 本会議（一般質問（個人））
9月8日 本会議（一般質問（個人）・議案質疑・委員会付託）
9月9日 予備日

- 9月12日 総務建設常任委員会
9月13日 文教厚生常任委員会
9月15、16、20、21日 決算審査特別委員会
9月30日 本会議（委員長報告・質疑・討論・採決）

※日程、内容は予定であり、変更となる場合があります。詳細な日程は開会1週間前に決定しますので、市ホームページでご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

議員表彰
猪狩一郎議員（正副議長4年・議員15年）
鈴木英吉議員（正副議長5年）
櫻井優好議員（正副議長5年）

長年にわたり市政の振興に努められた功績により、全国市議会議長会から表彰され、6月23日の本会議場において表彰状が伝達されました。

議会を傍聴しませんか

9月定例会は9月1日（木）から開会予定です。

※議場は市役所本庁舎3階です。
※本会議の様子は市民課ロビー（市役所本庁舎1階）のテレビや日吉台出張所のモニター、インターネット（ライブ・録画）でもご覧いただくことができます。
※本会議の録画映像は、当該本会議の会議録が作成されるまでの間（おおむね2カ月）、市議会ホームページに掲載しています。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど皆様の御意見をお待ちしております。また、議会報は市議会ホームページでもご覧いただくことができます。
〒286-0292 富里市七栄 652-1
議会事務局
TEL. 0476-93-6492
FAX. 0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス
http://www.city.tomisato.lg.jp/category/2-3-0-0-0.html
携帯電話からは左のQRコードからアクセスできます

編集後記

選挙権年齢を「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げる改正公職選挙法が6月に施行され、約240万人の新たな有権者が誕生した中で、先般参議院選挙が行われました。皆さんは結果をどのように受けとめていらつしやることでしょうか。停滞感の漂う日本、若い世代の声と行動と柔軟な発想が日本を前進させる大きな力となるのは間違いありません。

一方、選挙の余韻が冷めやらぬ中、間もなく夏季オリンピック・パラリンピック・リオデジャネイロ大会が開幕します。こちらも若いアスリート達の連日の熱い戦いが世界中を魅了することでしょう、楽しみます。

さて、今回の6月定例会は3月議会にて審査された平成28年度当初予算に対する補正予算審査が主な議案となっています。詳しくは是非インターネット録画もごらんください。富里市も若い世代の声をいかに市政に届けるかが重要課題です。若い世代にもっと関心を持っていただけるよう、編集委員一同全力で取り組んでまいります。

（委員 井上 康記）